姫路おでん。地域団体商標取得地域団体商標取得記念講演会

~ 食を通したまちづくり ~

近年、全国の地方都市では大都市への人口流出による過疎化、工場の撤退や量販店の郊外出店による 商店街の衰退など共通の悩みを抱えています。このような中、郷土料理や特産物を観光資源としたまち おこしが注目されています。

11月12・13日に姫路城周辺で開催されたご当地グルメの祭典『B-1グランプリ』には大会史上最多数の51万5千人が詰め掛けるなどご当地グルメブームは年々白熱してきています。入賞した団体のまちには翌日から観光客が押し寄せる程の加熱ぶりです。兵庫県下でも多くの地域でご当地グルメの再発掘が盛んになってまいりました。

このような中、姫路市では姫路おでん協同組合が『姫路おでん』を全国各地でPRしてきた結果、

この度地域団体商標に認められました。

開催日時:平成24年1月24日(火)

14:30 ~ 16:30

会 場 :イーグレひめじ 3 階 あいめっせホール

テーマ :『食を通したまちづくり』

■「地域団体商標取得の意義と効果について」

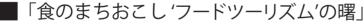


永井 道彰 氏

弁理士・神戸みなと特許事務所所長・大阪工業大学大学院 知的財産研究科 非常 勤講師(担当講座:意匠法要論、意匠法特論)

入場無料

神戸市出身。大阪府立大学工学部電子工学科卒業後、株式会社日立製作所に入社、コンピュータ事業部やHICAM(日立米国子会社)などで勤務。さらに大阪の大手特許事務所での勤務後、弁理士として2004年に独立開業。現在は神戸ハーバーランドにある神戸市産業振興センター内に特許事務所を開設。特許出願、実用新案出願、意匠登録出願とともに多数の商標登録出願の案件を担当している。地域団体商標としては、「明石鯛」「出石そば」「姫路おでん」を手掛けた実績がある。



千葉 千枝子 氏

観光ジャーナリスト・東京成徳短期大学 城西国際大学 観光学講師中央大学卒業後、富士銀行に入行。シティバンクを経て、JTBに入社。96年有限会社千葉千枝子事務所設立。運輸・観光全般に関する執筆、講演活動を行いラジオ、テレビにも多数出演。日本観光研究学会、日本旅行業女性の会等所属。ファイナンシャルプランナー、総合旅行業務取扱管理者を有する。近年はフードツーリズムはじめとした"ニューツーリズム"をテーマに、国内外を取材して積極的な情報発信を展開している。著書に「JTB 旅をみがく現場力」(東洋経済新報社)「観光ビジネスの新潮流」(学芸出版社)がある。

主催 姫路おでん協同組合 共催 姫路食文化協会 後援 姫路市・中播磨県民局 問い合わせ TEL 079-224-8803 FAX 079-224-1553 E- mail info@com21.or.jp 兵庫県姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館4階 (NPO法人コムサロン21内)